

江戸時代の往来物を読む

「木曾路往来」

(浅見家文書 No.2358)

【二丁目】

弘化乙巳新刻  
木曾路  
往来

錦森堂梓



木曾路往来  
切込に登り木柄を  
送給し春木曾路  
八重の海を渡る  
板橋や文好木乃馬を



東海道宗

平川より 二里  
大坂法興寺  
船の船ちん士夫文  
宗のちんちん  
おもしろい大坂の  
松乃 ちんちん  
おもしろい大坂の  
おもしろい大坂の  
おもしろい大坂の  
おもしろい大坂の  
おもしろい大坂の

少少を物宗の意の  
今日指採んをほほほ  
浦和をい田務の誘連  
松乃並木木末木末  
と長田木木末木末

おもしろい大坂の  
おもしろい大坂の  
おもしろい大坂の  
おもしろい大坂の  
おもしろい大坂の

おもしろい大坂の  
おもしろい大坂の  
おもしろい大坂の  
おもしろい大坂の  
おもしろい大坂の

おもしろい大坂の  
おもしろい大坂の  
おもしろい大坂の  
おもしろい大坂の  
おもしろい大坂の

まきちん入るまきちん  
たれと  
後かゆ  
さあ久  
坂の下中村おれら  
さあまの板むき  
さあみのさあたは  
さあたれと  
さあつか  
さあ久  
二と  
家の方まきちん  
まのちかぬら  
たれと

て然もと関じ古流や  
車實かの子下一性のお  
袴とまきと味味をか  
衣と袴とまきと國那  
村六流とまきと茶とまきと



まきちん入るまきちん  
たれと  
後かゆ  
さあ久  
坂の下中村おれら  
さあまの板むき  
さあみのさあたは  
さあたれと  
さあつか  
さあ久  
二と  
家の方まきちん  
まのちかぬら  
たれと

下まきちん松と新町  
驛西の冷乃板かて  
鳥よまきちん松と  
実まきちん松と遠近小  
横雲松と鳥に波

二丁入江  
 白く大川  
 の中流  
 系は  
 大川  
 所  
 山  
 大川  
 南  
 川

うらみの板屋下  
 栗山を  
 根  
 中  
 便

小田原  
 の  
 川  
 川  
 川  
 川  
 川

是横川の津園所  
 宅  
 運  
 草  
 小田原の家